

平成30年度6月補正予算案

主要事項説明資料

健康福祉部

主要事項説明資料目次

健康福祉部

ページ	事業名	担当課
1	地域介護基盤整備促進事業費	高齢者支援課
2	健康長寿・データヘルス推進事業費	高齢者支援課 健康対策課
3	北部リハビリテーション充実費	リハビリテーション支援センター 障害者支援課
4	障害者施設整備助成費	障害者支援課
5	「京のはあと製品選手権」開催事業費	障害者支援課
6	「のびのび育つ」こども応援事業費(放課後児童クラブ等整備費補助金)	こども総合対策課
7	ダブルケアサポート事業費	男女共同参画課 高齢者支援課 こども総合対策課
8	仕事と不妊治療の両立支援事業費	男女共同参画課 こども総合対策課
9	保育等子育て環境充実事業費	こども総合対策課
10	保育士確保・就業環境向上事業費	こども総合対策課
11	児童養護施設整備助成費	家庭支援課
12	周産期等子育て医療体制強化費	大医学政策課
13	総合医師確保対策費	医療課
14	医療施設設備整備助成費	医療課

ページ	事業名	担当課
15	地域医療機能強化特別事業費	医療課
16	外国人患者受入体制モデル構築事業費	医療課

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	地域介護基盤整備促進事業費		新規・継続の別		継続	
	747,000千円	国庫	起債	その他	一般財源	
予算額	747,000千円	—	—	747,000	—	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>地域における介護の総合的な確保を推進するため、介護基盤の整備を実施</p> <p>2 事業内容</p> <p><u>(1) 地域密着型サービス施設等の整備への助成</u></p> <p>可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域密着型の認知症高齢者グループホームや小規模多機能型居宅介護事業所等の整備を支援</p> <p><u>(2) 介護サービスの改善を図るための既存施設等の改修の支援</u></p> <p>特別養護老人ホームにおける多床室のプライバシー保護のための改修を支援</p>					
担当課・担当名	高齢者支援課 福祉サービス担当	課・担当 電話番号		075-414-4574		

平成30年度6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	健康長寿・データヘルス推進事業費 (一部再掲)		新規・ 継続の別	新規	
予算額	26,400千円 (うち国民健康保険事業特別会計16,400千円)	国庫	起債	その他	一般財源
		26,400	—	—	—
事業内容	<p>1 趣旨 府民の健康づくりを推進するため、府内大学等と連携した介護・医療データの分析や、個人に着目した糖尿病治療中断者の抽出及び適正服薬指導のためのツール開発、介護保険データ分析手法の研修等を実施</p> <p>2 事業内容 保健所毎に協議の場（健康長寿データヘルス協議会（仮称））を設置の上、データ分析結果と分析手法を提供し、市町村や府内大学等とともに対策を検討</p> <p>◆市町村向け支援</p> <p>(1) 府内大学等と連携した介護・医療データや課題の分析【再掲】 (4,200千円) ア ・大学と連携して介護保険等のデータ分析を行い、分析手法や課題等を市町村へ技術支援</p> <p>(2) 保健所等による市町村の伴走支援 (11,200千円) ・「見える化システム」を活用した地域課題の検討、データ分析手法等の研修 (5,800千円) イ ・特定健診日程、会場の相互乗入体制構築、受診勧奨方法・資材を開発 【国民健康保険事業特別会計】(5,400千円) ウ</p> <p>◆個人向け支援</p> <p>(3) データに基づく個々人に対応した健康づくりを支援 【国民健康保険事業特別会計】(11,000千円) エ ・適正な服薬や継続した糖尿病治療のための上記ツールを開発</p>				
担当課・担当名	ア、イ 高齢者支援課 ウ、エ 健康対策課	介護計画・企画担当 健康長寿担当	課・担当 電話番号	075-414-4578 075-414-4724	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	北部リハビリテーション充実費		新規・継続の別		新規	
	予算額	4,500千円	国庫	起債	その他	一般財源
			1,000	—	—	3,500
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>北部地域（丹後・中丹）におけるリハビリテーションの充実と高次脳機能障害支援を行う拠点を中丹東保健所に設置</p> <p>2 事業概要</p> <p><u>（1）リハビリテーションの充実（①）</u> <u>2,500千円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション相談・指導 ・北部リハビリテーション専門職等の質の向上 ・地域リハビリテーションの推進 等 <p><u>（2）高次脳機能障害支援拠点の設置（①，②）</u> <u>2,000千円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談等支援 ・医療機関との連携強化 ・生活訓練（グループワーク） ・環境整備に向けた調整 等 					
担当課・担当名	①リハビリテーション支援センター ②障害者支援課 認定・精神担当		課・担当 電話番号		075-251-5387 075-414-4732	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	障害者施設整備助成費		新規・ 継続の別		継 続	
			国 庫	起 債	その他	一般財源
予 算 額	139,000千円					
			92,666	37,000	—	9,334
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>障害者自立のための社会福祉施設の整備に対して助成する。</p> <p>2 事業内容（予定）</p> <p>新たな施設の整備 2箇所</p>					
担当課・担当名	障害者支援課 福祉サービス・障害児支援担当		課・担当 電話番号		075-414-4633	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	「京のはあと製品選手権」開催事業費		新規・ 継続の別	新規	
予算額	8,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		4,000	—	—	4,000
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>福祉事業所で働く障害者の工賃向上を図るため、「京のはあと選手権」開催を通じた魅力ある福祉就労製品づくりや人材育成を実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 「京のはあと製品選手権」の開催 3,000千円</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p> <p>ぶらり嵐山やハートプラザ京都三条店、百貨店等で京のはあと製品を販売する選手権を開催し、優秀製品を「京のはあとセレクション」としてブランド化・販路拡大を推進</p> <p>(2) 希望する全事業所へのアドバイザー派遣 5,000千円</p> <p>ア 製品アドバイザー派遣 「京のはあと製品選手権」へ出場できる製品づくりに向け、アドバイザーが技術指導、京都らしさ、品質、ターゲットへの訴求力などを助言</p> <p>イ 経営アドバイザー派遣 製品を安定供給させる体制を構築するため、「工賃向上計画」の策定を支援し、経営者・従業員の意識改革を促すワークショップ等を実施</p>				
担当課・担当名	障害者支援課 福祉サービス・障害児支援担当		課・担当 電話番号	075-414-4596	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	「のびのび育つ」こども応援事業費 (放課後児童クラブ等整備費補助金)		新規・ 継続の別		継続
	予算額	国庫	起債	その他	一般財源
		14,000千円	—	11,000	—
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>放課後における児童の安心・安全な居場所を確保するため、放課後児童クラブ等の整備に対して助成する。</p> <p>2 事業内容(予定)</p> <p>創設、改築 2箇所</p>				
担当課・担当名	こども総合対策課 母子保健・子育て支援担当		課・担当	電話番号	075-414-4591

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

府民生活部
健康福祉部

事業名	ダブルケアサポート事業費		新規・ 継続の別	新規	
予算額	6,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		2,500	—	—	3,500
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>晩婚化・晩産化の進行により子育てと同時に介護を担う「ダブルケア」が増えていることから、窓口相談・支援体制の強化、コミュニティづくりを推進するとともに、企業への出張セミナー・相談を実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p><u>(1) ダブルケア相談窓口の設置支援 (②、③)</u></p> <p>市町村の地域包括支援センター、子育て世代包括支援センターの職員、訪問支援を行う助産師等を対象に相談体制構築に向けた研修を実施</p> <p><u>(2) 地域の居場所の運営支援 (②、③)</u></p> <p>ダブルケア当事者の精神的負担等を軽減するため、交流や情報交換・提供の場の運営支援として、ピアサポーター（ダブルケア経験者）を養成・派遣</p> <p><u>(3) 企業への出張セミナーや相談の実施 (①)</u></p> <p>ダブルケアによる離職を防ぐとともに、企業の人材不足に対応するため、企業訪問による仕事とダブルケアの両立に係るセミナーや相談を実施</p>				
担当課・担当名	①男女共同参画課 女性活躍・ワークライフバランス推進担当 ②高齢者支援課 介護予防・認定担当 ③こども総合対策課 母子保健・子育て支援担当	課・担当	電話番号	075-744-6700 075-414-4570 075-692-3444	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

府民生活部
健康福祉部

事業名	仕事と不妊治療の両立支援事業費（一部再掲）		新規・ 継続の別	新規	
予算額	4,500千円	国庫	起債	その他	一般財源
		2,000	—	—	2,500
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>仕事と不妊治療の両立に向けた相談対応窓口の拡充や普及啓発により、働きながら不妊治療を受けられる環境整備を促進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 相談対応窓口の拡充 (2) 500千円</p> <p>きょうと子育てピアサポートセンター（京都テルサ東館2階）に設置している「妊娠出産・不妊ほっとコール」で、仕事と不妊治療の両立に悩む従業員への相談対応ができるよう専門の相談員を配置</p> <p>(2) 両立支援に係る普及啓発 (①、②) [再掲] 4,000千円</p> <p>仕事と不妊治療を両立できる環境づくりを促すとともに、企業の人材不足に対応するため、企業訪問を通じた普及啓発を実施</p>				
担当課・担当名	① 男女共同参画課 女性活躍・ワークライフ推進担当 ② こども総合対策課 少子化対策担当		課・担当 電話番号	075-744-6700 075-414-4602	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	保育等子育て環境充実事業費		新規・ 継続の別	新規	
予算額	100,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	100,000
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 趣 旨				
	保育環境の質の向上のため、未就学児が利用する児童福祉施設の施設・設備整備に対してきめ細やかに助成する。				
	2 事業内容				
	対象施設	未就学児が利用する民営の児童福祉施設（保育所、認定こども園、児童養護施設等）			
	対象事業	保育の質の向上や安全対策等のための小規模整備等			
	負担割合	府・事業者 各1/2			
	補助上限	1,000千円/施設 (補助基本額 2,000千円)			
実施期限	平成34年度				
担当課・担当名	こども総合対策課 母子保健・子育て支援担当		課・担当 電話番号	075-414-4591	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	保育士確保・就業環境向上事業費		新規・ 継続の別	新規	
予算額	10,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	10,000
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 趣 旨 保育所等の人材確保を図るため、保育士修学資金貸付の制度を拡充するとともに、保育所等のICT化を支援する。				
	2 事業内容				
	(1) 京都式保育士修学資金貸付事業 4,800千円				
	4年制大学に通う学生を対象に、貸付期間を4年に延長する制度を創設				
		現行制度	創設		
	貸付対象	保育士養成施設（専門学校、短期大学、4年生大学）に在学する学生	保育士養成施設（専門学校、4年制大学）に在学する学生		
	貸付限度額	月額5万円×2年分	月額5万円×4年分		
	返済免除要件	保育所等に5年間勤務	保育所等に10年間勤務		
	(2) 保育事務等ICT化推進事業 5,200千円				
	保育士の負担軽減を図るために必要な業務のICT化を支援				
	対象施設	負担割合	補助上限		
	保育所、認定こども園等	国1/2、府1/8、市町村1/4、事業者1/8	125千円/施設 (補助基本額 1,000千円)		
担当課・担当名	こども総合対策課 母子保健・子育て支援担当		課・担当 電話番号	075-414-4591	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	児童養護施設整備助成費		新規・ 継続の別	継続						
予算額	408,000千円	国庫	起債	その他	一般財源					
		272,108	108,000	—	27,892					
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>家庭的養護推進のための児童養護施設等の整備に対して助成する。</p> <p>2 事業内容</p>									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象施設</th> <th>対象事業</th> <th>事業実施 (予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助産施設、乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、児童心理治療施設、児童家庭支援センター</td> <td>新設、修理、改築、拡張又は整備</td> <td>2箇所</td> </tr> </tbody> </table>		対象施設	対象事業	事業実施 (予定)	助産施設、乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、児童心理治療施設、児童家庭支援センター	新設、修理、改築、拡張又は整備	2箇所		
対象施設	対象事業	事業実施 (予定)								
助産施設、乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、児童心理治療施設、児童家庭支援センター	新設、修理、改築、拡張又は整備	2箇所								
担当課・担当名	家庭支援課 家庭福祉担当		課・担当 電話番号	075-414-4582						

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

文化スポーツ部
健康福祉部

事業名	周産期等子育て医療体制強化費		新規・ 継続の別	一部新規		
予算額	27,000千円		国庫	起債	その他	一般財源
			12,000	—	—	15,000
事業内容	<p>1 趣 旨 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進するため、京都第一赤十字病院、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の協力・連携をより深めることで、本府の周産期医療体制を強化する。</p>					
目的 対象 方法等	<p>2 事業内容</p> <p>(1) <u>総合周産期母子医療センター運営費の補助等</u> (医療課) 24,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内の周産期医療体制を強化するため、新たに京大病院を総合周産期母子医療センターに指定し、運営費を助成 ・府内のハイリスク症例等の全数把握を目的に周産期医療情報システムを強化し、データを集約・分析することで円滑な受入体制を構築 <p>(2) <u>府立医科大学附属病院におけるNICU増床</u> (大学政策課) 3,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NICUの恒常的な満床状態の改善を図るとともに、総合周産期母子医療センターの指定に向けて、府立医科大学附属病院のNICU増床整備(6床→9床)の基本設計を実施 					
担当課・担当名	大学政策課 大学政策担当 医療課 地域医療担当	課・担当 電話番号	075-414-4526 075-414-4744			

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	総合医師確保対策費		新規・ 継続の別	継続	
予算額	5,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	5,000
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 全国的に医師確保が困難な診療科（小児科）において、地域医療確保奨学金貸与枠の拡大による、将来の地域医療機関に従事する医師確保策の充実を図る。</p> <p>2 事業概要 北部地域の医師確保につなげるため、小児科医2名分の奨学金枠の拡大を行う。</p> <p>（対象者） 地域医療機関に医師として勤務する意思を有する者</p> <p>（貸与額） 月額20万円</p> <p>（返還免除要件） 南丹市以北の公的医療機関で医師業務に貸与相当期間従事</p>				
担当課・担当名	医療課 医療人材確保担当		課・担当 電話番号	075-414-4716	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	医療施設設備整備助成費		新規・ 継続の別	継続	
予算額	250,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		226,354	—	—	23,646
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 趣旨				
	良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るとともに、医療施設における患者の療養環境等の充実を図ることを目的とし、医療施設・設備等の整備に対する助成を行う。				
	2 事業概要				
	① 医療提供体制施設整備交付金事業	医療施設の耐震整備等			
	② 医療施設等施設整備費補助事業	スプリンクラー等防火対策			
	③ 医療施設等設備整備補助事業	へき地診療所等の設備整備			
	④ 医療提供体制推進事業	医療施設の設備整備			
⑤ 医療施設耐震化促進事業	医療施設の耐震診断				
担当課・担当名	医療課 地域医療担当		課・担当 電話番号	075-414-4745	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	地域医療機能強化特別事業費	新規・継続の別		継続	
予算額	60,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		-	-	60,000	-
事業内容 〔目的対象方法等〕	<p>1 趣 旨 在宅医療機能の充実と病床機能の強化に向け、ハード整備と人材育成確保等のソフト事業をパッケージで支援</p> <p>2 補助対象事業 (1) 病床機能強化を円滑に進めるための事業 病床機能強化に必要な施設・設備の整備、人材養成・配置等</p> <p>(2) 在宅医療提供体制充実に向けた事業 病床機能強化に併せて医療機関が行う、在宅医療提供（在宅訪問診療、訪問看護等）の実施に必要な施設・設備整備及び事業運営に必要な人材の養成、配置等</p> <p>3 補助対象者 府内医療機関</p>				
担当課・担当名	医療課 地域医療担当	課・担当 電話番号		075-414-4744	

平成30年度 6月補正予算案主要事項説明

健康福祉部

事業名	外国人患者受入体制モデル構築事業費（再掲）		新規・ 継続の別	新規	
予算額	6,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		6,000	—	—	—
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>訪日外国人の増加に伴い、医療機関の受診の増加が見込まれることから、京都府の地域特性に応じた外国人患者受入体制のモデルを構築する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 多分野の関係者による協議の場の設置 医療機関、医療関係団体、観光関係団体、消防、行政（医療、観光）等による協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人患者受入に係る課題の整理 ・関係者間の連携体制の構築 <p>(2) 地域固有の実情の把握 外国人患者の実態や課題等（アンケート調査、ヒアリング）</p> <p>(3) 情報発信 外国人が受診しやすい環境が整備されている医療機関等の情報を外国人旅行者や宿泊施設等へ周知</p>				
担当課・担当名	医療課 医務・看護担当		課・担当 電話番号	075-414-4749	